

増やすな！ レジオネラ

—入浴施設の衛生管理を徹底しましょう！—

レジオネラ症は、肺炎などを引き起こし、重症化すると死に至ることもある危険な感染症です。
衛生管理が悪いと、入浴施設が感染源になってしまいます！！



レジオネラ属菌
顕微鏡写真

レジオネラ属菌とは

- ・本来は土壌、河川、湖沼などの自然環境中に普通に生息している細菌です。
- ・20～45℃のあたたかい水温を好み、有機物の汚れやヌメリなどに潜むアメーバという微生物に寄生して増殖します。
- ・適温で有機物の汚れの多い循環式浴槽水では、衛生管理が悪いと爆発的に増え、レジオネラ症を引き起こします。

<最近のレジオネラ症発症事例>

ケース1

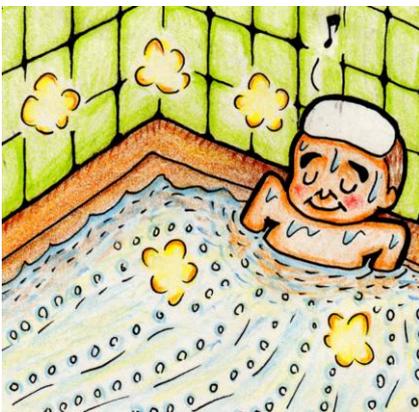
<2012年12月>
埼玉県日高市

温泉施設を利用した客8名が
レジオネラ症を発症し5名が
入院 ⇒ 施設は廃業

ケース2

<2013年2月>
千葉県船橋市

日帰り入浴施設を利用した客
1名がレジオネラ症を発症し、
その後死亡 ⇒ 営業停止処分



シャワーでの
感染例も！！

レジオネラを含む
エアロゾルを吸い
込んで感染！！



日々の衛生管理がとても重要です！！

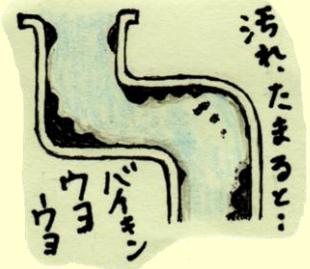
仙 台 市

<レジオネラ対策 衛生管理のポイント>

◎循環ろ過系統の洗浄・消毒の徹底！

ろ過器や循環配管に汚れがたまると、レジオネラ属菌が増殖しやすい環境になってしまいます。

ろ過器の種類に応じて、定期的に逆洗浄やろ過材の交換を行い、最低でも週1回以上、循環ろ過系統に高濃度の塩素系消毒剤などを循環させてしっかり消毒し、さらに浴槽水を完全に抜き、しっかり洗浄してください。



◎浴槽水遊離残留塩素濃度の適正維持！

レジオネラ属菌の増殖防止には、塩素系消毒剤が有効です。

浴槽水の遊離残留塩素濃度はこまめに測定し、0.2~1.0mg/Lに保ってください。(0.2~0.4mg/Lが望ましい)



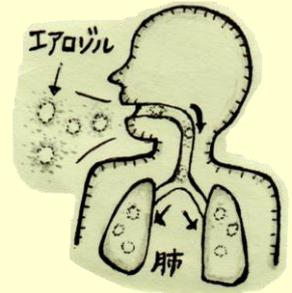
◎気泡発生装置の使用は要注意！

ジャグジーなどの気泡発生装置は、細かいしぶき(エアロゾル)を発生させるため、レジオネラ属菌が肺に入りこみやすくなってしまいます。

装置の中に土ぼこりが入らないよう、空気取入口は外部に設けないようにし、取入口にはフィルターを設置してください。

また、連日使用型循環式浴槽では、気泡発生装置の使用は避けてください。

※シャワーでもエアロゾルが発生します。シャワーヘッドを定期的に洗浄・消毒するなどの管理も重要です。



水質検査を実施しましょう

浴室で使用する湯水について、仙台市条例で定められた頻度・項目の水質検査を実施しましょう。

適正な衛生管理ができているかどうか、確認のため重要です。

※水質検査でレジオネラ属菌が検出された場合※

- ・水質検査でレジオネラ属菌が検出された場合は、原因を調査し、速やかに清掃・消毒などの改善措置を取ってください。
- ・改善措置実施後、あらためて水質検査を行い、改善されているかどうか確認してください。
- ・所轄の保健福祉センター(保健所)にも速やかに連絡をお願いします。

※清掃時はしぶきを吸い込まないように、マスクを着用してください。



問い合わせ先

青葉区保健福祉センター(青葉保健所)	衛生課	TEL. 022-225-7211	内線 6728~6729
宮城野区保健福祉センター(宮城野保健所)	衛生課	TEL. 022-291-2111	内線 6725~6726
若林区保健福祉センター(若林保健所)	衛生課	TEL. 022-282-1111	内線 6725
太白区保健福祉センター(太白保健所)	衛生課	TEL. 022-247-1111	内線 6725~6726
泉区保健福祉センター(泉保健所)	衛生課	TEL. 022-372-3111	内線 6725~6726